

Ⅰ. 海に囲まれて火山が多い九州地方

- (1) 図Ⅱの①の距離（北九州市から与那国島まで）を、地図帳などから測ってみよう。

およそ 1300 km

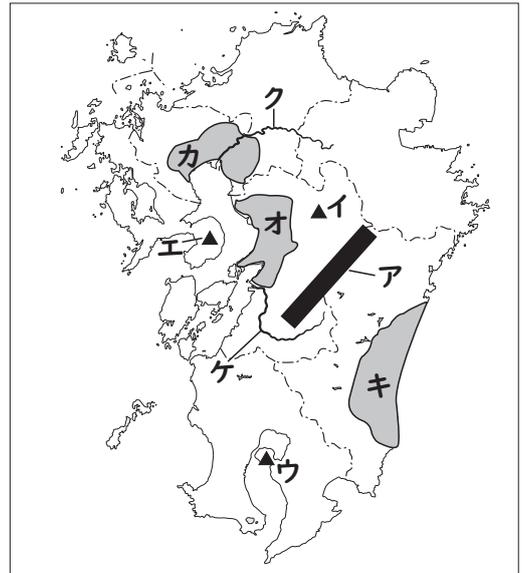
- (2) 九州と台湾に挟まれた図Ⅱの②の島々のことを何といいますか。

南西諸島

- (3) 図Ⅰのア～ケの地形の名称を記入してみよう。

ア	九州	山地
イ	阿蘇山	
ウ	御岳 または 桜島	
エ	雲仙岳（普賢岳）	
オ	熊本	平野
カ	筑紫	平野
キ	宮崎	平野
ク	筑後	川
ケ	球磨	川

図Ⅰ



図Ⅱ



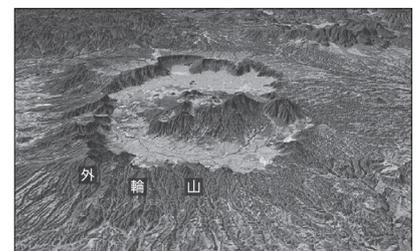
- (4) イ～エに共通する特徴は何だろうか。

(例) 火山である。

- (5) 図Ⅰのイは、資料Ⅲのような特徴的な形をしています。このような地形を何といいますか。また、それはどのようにしてできたか説明してみよう。

カルデラ

資料Ⅲ



(例) 火山の爆発や噴火による陥没によってできた。

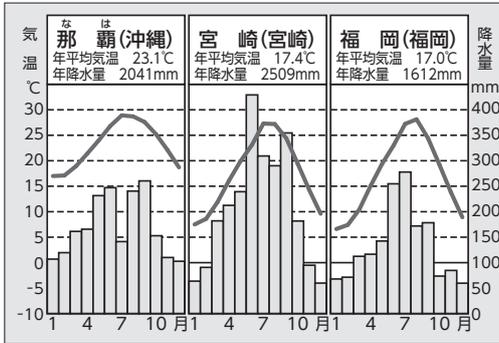
- (6) 火山が多いとどのような災害が起こる可能性があるか考えてみよう。

(例) 火山灰が降る、火砕流が発生する など

2. 温暖な気候と自然災害

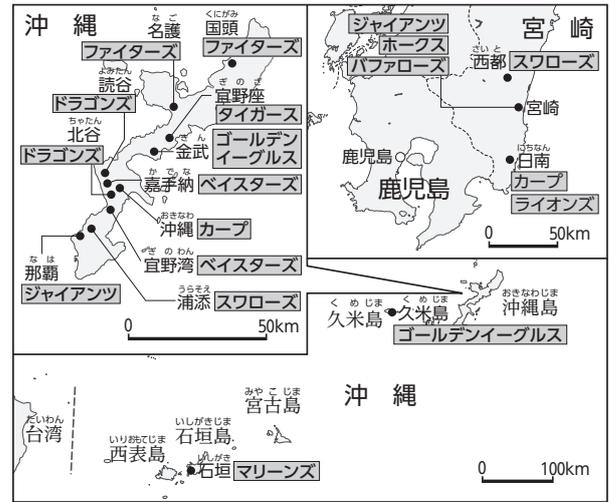
(1) プロ野球チームの春季キャンプが、資料Ⅳの場所で行われる理由を、資料Ⅴの雨温図を手がかりに考えてみよう。

資料Ⅴ



資料Ⅳ プロ野球チームの春季キャンプの開催地

(2020年)



- (例) ・冬の気候が温暖だから。
 ・太平洋側に位置している宮崎は、冬の降水量が少なく、晴天の日が多いから。

(2) 九州地方が冬でも比較的温暖な理由を挙げてみよう。

- (例) 近くを暖流の黒潮と対馬海流が流れているため。

(3) 資料Ⅴでは那覇と宮崎は、6月と9月に降水量が多くなっています。

① 6月と9月に降水量が多い理由をそれぞれ考えてみよう。

6月	9月
(例) 梅雨前線の影響や南からの湿った季節風が吹き込むため。	(例) 台風が接近・通過するため。

② 九州地方で6月や9月に起こりやすい災害を挙げてみよう。

- (例) 土砂崩れ、洪水、崖崩れ、暴風 など

本時のまとめ

◆ 九州地方では、どのような自然災害がよく起こるのだろうか。また、その原因を説明しよう。

- (例) 火山が多く、火山の噴火に伴う災害がよく起こる。また、梅雨の時期や台風が通過する時期に多くの雨が降るため、洪水や崖崩れなどが起こることもある。